

11月19日に市長に対して 日本共産党川口市議団として 予算要望書を提出

市政に対するご意見、ご要望を

日本国憲法のもと、地方政治において、二元代表制の一翼が議会です。民主主義社会において議会は社会を変えていくための力を持っています。日本共産党川口市議会議員団は、市民の闘いと力を合わせて道理ある提案で川口市政を前に動かします。

日本共産党の綱領・政策をもとに、各市議が日常の市民との対話を活かし、各市議が報告者となって各地で開催されている議会報告会や市議団と、市内各団体との懇談会などで出された声も含め、市議団として討議して要望書を毎年作成しています。

**11月の
●
無料
法律相談**

事前にご予約の上お越しください(ペンやメモ帳を)
申し込みの際は必ず連絡先の電話番号をお知らせください。

相談希望の方は党市議会議員、
または下記までご連絡ください

◎日時 **11月11日(火) 18時～**

◎会場 日本共産党埼玉南部地区委員会事務所2階

主催：日本共産党川口市議会議員団

川口市前川2-28-10 電話 **048-267-8411**

新川口

金子ゆきひろ 松本さちえ

2025年10月2日 No.1812

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528

<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

板橋ひろみ ふじしまともこ

東京23区と川口市の公定価格・地域区分の 格差拡大を見直し 地域の実情を踏まえた対応を国に要望

10月17日に日本共産党埼玉県委員会と同国會議員団埼玉事務所、埼玉県議団は国への2025年度予算要望書に基づき各省庁と懇談をしました。懇談には、伊藤岳前参院議員や県副委員長、県議団長や地方議員など川口市議団からも参加し、塩川鉄也衆院議員、岩渕友参院議員が同席しました。当日は、国立大学への運営費交付金の増額や、下水道事業について老朽管布設替え工事費の補助条件の拡充や、自治体病院の存続など様々な地域の実態が届けられました。



川口市議団からは、公定価格・地域手当について川口市の近隣自治体の東京都足立区や北区など民間企業の給与が高く、中小企業が多い川口市との公定価格に差がある状況がある。また、地域区分が6%から4%に引き下げになれば、仮に、東京23区(20%)との比較では現在の14%の差が、16%に拡大することになる。例えば、90人定員の保育所の年間の運営費の収入で試算すると、東京23区と川口市では令和6年度では年間972万円の差になる。今後、地域区分が引き下げられれば、年間1,111万円の差となる。現在、川口市は、「低年齢児途中入所促進事業」や「保育士賃金補助事業」など厳しい保育所運営に対し、令和6年度は約6億円の支援をしている現状を述べ改善を求めました。

子ども家庭庁担当者からは、保育の実施責任は市町村にあるが大野知事の見解も認識していると応えがあり、これに対して子どもの成長発達を保障するのは公的責任であり、地域間格差の解消に向け国が地域の実情を踏まえた対応を行っていただきたいと重ねて要望しました。

川口市総合教育会議を傍聴しました

10月21日に川口市総合教育会議が開かれました。議題の概要を紹介します。

①川口市教育大綱の改定

現在策定中の第6次川口市総合計画との整合を図り、変動が激しい社会情勢を踏まえ複雑・多様化する教育課題に迅速かつ的確に対応するため新たな柱を加える。

②小中学校の適正規模・適正配置

小中学校において一定の集団規模や学級数を確保するとともに、学校施設の老朽化対策等の計画を組み合わせた中長期的な再編計画を策定中。

通学 (要点)通学区 や通学時間等 について (新基準)	●区域:中学校区を基本に1中学校あたり1〜3校程度の小学校を構成し、可能な限り小学校は同じ中学校へ進学する。 ●距離:小学校は概ね1.5km以内、中学生は概ね1.5km以内。 ●時間:小中学校ともに概ね30分以内。
統廃合 について (在地基準)	●過小規模(6学級以下)の状態が2年継続し、翌年度以降も継続的に過小規模が予測される場合、統廃合等の検討を開始する。 ※統廃合対象校のうち立地等の状況で近隣校との統廃合が困難な場合、義務教育9年間を一貫した教育を行う「義務教育学校」の設置を検討する。

③部活動の地域展開について

令和9年10月から休日部活動を地域展開に移行する

重点施策	① 子どもの多様なニーズに応じた「他種目」「多志向」「インクルーシブ」な環境 ② 既存の地域クラブや少年団等「数のポテンシャル」を活かした活動 ③ 地域説明会の実施や各種団体等の会議に参加し基本方針等について広く周知 ④ 子供、保護者、教職員等それぞれの思いを反映させた地域クラブ活動
【課題】	●人材:指導者登録制度とリスト、人材バンク設置 ●活動場所:学校施設開放の仕組みを再整備(学校施設を有効活用) ●予算確保:経済的に困窮する世帯への支援を中心に、国や県の補助の活用。市として補助制度の必要性等、検討を進めていく。

④市立幼稚園の在り方について

【方向性】2園存続・2園統合・2園廃園など組織横断に検討する

【課題】	●園児数が定員の半数に満たない状況のまま2園維持は効率的ではない。 ●園児数減少により、園児一人あたりの運営費は2.6倍(平成26年度比)。 ●市立幼稚園の保育・教育内容について一定の評価はあるが、延長保育や送迎バス、給食提供、駐車場が求められている。 ●市内の子育て世代のニーズは幼稚園から保育園にシフトしている。
------	---

知っ得情報

ごみの自己搬入の 受け入れが 再開されます

1月に起きた朝日環境センターの火災の影響で朝日環境センターでの家庭系、事業系ごみと、戸塚環境センターでの家庭系ごみの、自己搬入の受け入れが停止されていました。それが12月15日より再開されることになりました。家庭系ごみの搬入予約は12月1日から始まります。

【家庭ごみ自己搬入の手順】

①搬入日の予約

搬入希望日の2週間前から前日までの平日に、下記の予約専用ダイヤルに電話してください。音声ガイダンスの後に順次オペレーターにつながります。休日の翌日などはかかりにくい場合があります。

②搬入

ごみを車で運んでください。安全確保のためバイク、徒歩での搬入はできません。ごみを出した本人が来てください。(川口市で発生したごみであることを確認するため、受付で本人確認書類等の確認があります。)

- 顔写真付き1点(免許証、マイナンバーカード等)
- 顔写真なし2点(保険証プラス公共料金請求書、介護保険被保険者証等の住民票上の住所の確認できるものを1点以上含む2点)

③支払い

窓口で手数料を現金で支払ってください。10kgにつき100円(税込)10kg以下は切り上げとなります。

予約専用ダイヤル 050-3146-8953

9:00〜17:00(月〜金曜日 祝日・年末年始除く)

予約ができるのは1世帯につき1回です。次回の予約は持ち込みが終わった翌日以降から可能です。

お問い合わせ(搬入予約は専用ダイヤルをお願いします。)

戸塚環境センター 048-295-0131

朝日環境センター 048-228-5300